

【取扱注意・未定稿】

北部訓練場返還跡地における廃棄物の取扱いに係る意見交換（概要）

日時：平成29年8月4日（金）17:00～17:35

場所：県庁7階 第4会議室

出席：環境部 環境政策課 安次富主幹、久高主任

環境整備課 石川主任

自然保護課 前原班長、出井班長、志賀主任

企画部 立津参事、企画調整課 大城主幹、篠田主査

配布資料：別添

（企画・立津）北部訓練場跡地の支障除去に係る中間報告が6月20日に行われたが、その中で、米軍が運び込んだと思われる鉄板・ライナープレート等が残っている箇所（ヘリパッド周辺）があり、これらについては、環境省及び林野庁と調整のうえ存置する方針である旨の発言があった。

そうした国の方針に対する県の見解について、次回の防衛省等との調整（8月中予定）までに、関係課等と調整のうえ統一しておきたい。

（環整・石川）

（自保・前原）当該跡地は、将来的にやんばる国立公園に編入される可能性がある地域であると認識。

（企画・立津）廃棄物が残されたままになることを聞いてしまった以上、支障除去の徹底の観点から、国に何か言うべきではないか、と考える。防衛省は存置の理由として運搬困難を挙げているが、鉄板等を切断するなど、やりようはあるはず。

（環政・久高）県の統一見解を示すタイミングとして、次回の防衛省等との調整時では遅くないか。この件について、国頭村や東村はどう言っているか。

（企画・大城）前回の中間報告は、防衛本省の報告のみで終わってしまったので、まずは、沖防局に対して廃棄されている場所等の確認を行う。

さらに、両村も同じ説明を受けたと思われるので、それを受けての意見等を聴き取りしたいと考えている。（両村へ出向く際は、前回同様、基環室も同席してはどうか）

次回の防衛省等との調整時までに、環境部の見解を伺い、（必要に応じて）企画部から事前に沖防局へ意見しておきたい。